

タ
刊

所
行
日
新聞社
福島県磐城市沿岸五
電話387番
編集兼 畠村 潤
発行人

酒は
清水屋商店
上明神町一九
電話四五六番

産米才二次の
売渡し推進協議

全 高橋正人
諸氏を仰ぐのみならず、有名人、
藝能家の方が数多くあり、会長
には上条信山氏(書道學習指導要
編修委員長)が当り、本場に於
ては理事として小名浜高等学校
の熊田正夫教諭一人が選出され、
地方の初学者の直接指導に、そ
の専門技能を授われることと
あります。あわてては開会式や
講演会等で、その活躍が期待されて
いる。

(明後日) 西よりの風、体調ま
じょう。あわてては開会式や
講演会等で、その活躍が期待されて
いる。

午前九時から小名浜第一中学校各室に於て指揮を行つた。

図なるが、福島県農業組合中央会
局が会合協議会を開催した。
これは昭和三十一年度産米事前競
争申込は、磐城市管内に於て一五、
二〇〇余件に達しているが、其の
種七戸は松村組一、一九七〇〇
円、直営分一〇三、五〇〇円。
▼小名浜に建築するもの、

種五戸は柳井組五五、八〇〇円。
八〇〇円、直営分一四四、九〇〇
円。

△江名へ建築するもの。

【註】直営分とは設計料、費用

額の現物支給。

第種五戸は吉田工務店八五、

〇〇〇円、直営分一〇三、五〇〇

円。

